

学習指導要領	田無高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p>	<p>他者の文章を評価することで、自らの表現力を高め、自らが生きる社会について、より多面的に、より深く考えることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の選択や例示、論の構成・展開などの、筆者の良い点・直すべき点を指摘し、改善することができる。 ・ 他者のものの見方に触れることで、より多様な見地から物事を考えることができる。 ・ 文章を踏まえ、自らの意見を書くことができる。
<p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p>	<p>誰に向かって何のために書くのかを考え、自らその目的や課題に応じた題材や文章の形態を選び、それにふさわしい文体、語句を工夫して書くことができる。</p> <p>自分の考えを表現する上で必要な情報を、自主的に収集、分析して文章を構成することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら目的や課題に応じて題材を選び、自分自身の体験や考えにより説得力をもたせるために、書物や調査などから得られた情報を分析、整理することができる。 ・ 常体と敬体を相手や目的や課題に応じ、使い分けることができる。 ・ 文章の形態や文体を考え、語句や言い回しを工夫して書くことができる。
<p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>多くの語句の意味、用法及び表記の仕方などについて理解し、正しく活用することができる。</p> <p>様々な文体や修辞を理解し、使用することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な語句の意味・用法を理解し、適切に用いることができる。 ・ 文章に使用される語句のうち、難解なものの意味を自ら調べ、理解する。 ・ 擬人法や比喻など、比較的理解しやすい修辞を正しく理解し、自らの表現に使用することができる。